

TOPIC | 1 | GX志向型住宅 断熱等性能等級6以上など要件に160万円補助

令和6年度補正予算案が閣議決定したことを受けて、国土交通省、環境省、経済産業省の3省は、住宅の省エネ化を支援するための補助制度の概要などを公表した。

国土交通省と環境省では、子育てグリーン住宅支援事業として省エネ住宅の新築と省エネリフォームに対する補助を実施する。全ての世帯を対象として、ZEHレベルを上回る性能を備えたGX志向型住宅へ1戸当たり160万円を補助する。GX志向型住宅の補助要件は、戸建住宅の場合、断熱等性能等級6以上を確保し、なおかつ一定の一次エネルギー消費量を削減することが求められる。

加えて、子育て世帯等を対象に長期優良住宅(建替前住宅等の除去を行う場合:1戸100万円、それ以外:80万円)とZEH水準住宅(建替前住宅等の除去を行う場合:1戸60万

円、それ以外:40万円)にも補助を行う。

子育てグリーン住宅支援事業では省エネリフォームについても補助を行う。1戸当たりの補助額は、①開口部の断熱改修、②躯体の断熱改修、③エコ住宅設備の設置という3つの必須工事のうち、全てを実施するSタイプが上限60万円、いずれか2種類を実施するAタイプが上限40万円となっている。

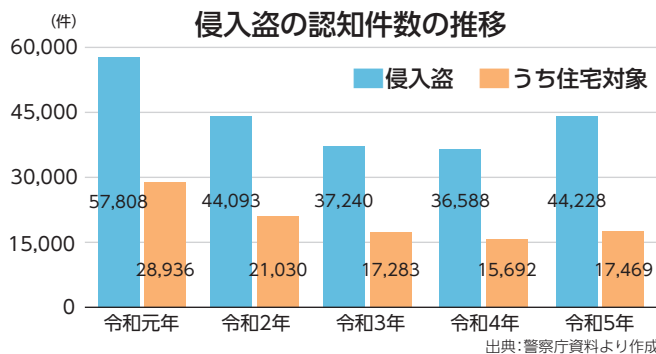
子育てグリーン住宅支援事業の他にも、先進的窓リノベ2025事業、給湯省エネ2025事業、賃貸集合給湯省エネ2025事業などで構成する3省連携の住宅省エネキャンペーンを2025年も実施する。子育てグリーン住宅支援事業とこれらの補助事業を併用することも可能で、2024年同様にワンストップでの申請にも対応する。

TOPIC | 2 | 匿流による被害拡大で再び防犯市場が動く

いわゆる匿流による強盗被害の拡大など、住宅侵入盗の手法が凶悪化するなか、住宅の防犯への関心が高まり、防犯関連建材などの販売、問合せが増加している。

文化シャッターは「国内の戸建住宅市場において、10月頃から防犯対策として窓シャッターの取付数が伸びている」、LIXILは「シャッターや雨戸、防犯合わせガラスを用いた内窓・取替窓など、防犯に繋がる商品の問い合わせ、受注が伸びている。また、玄関ドアに加え勝手口などを交換するユーザーが増え、電気錠のFamiLockやテンキー付屋外リーダーなど、防犯性を高める機能への問い合わせが増加している」とした。YKK APは「防犯関連商品について、WEBサイトの検索数が増えている」とし、特に面格子製品に動きがあるという。生産面に影響が出ているメーカーも。スリーエム ジャパンは「防犯用ガラスフィルムの需要が高まり、ここ2カ月間欠品している」という。

警察庁によると、住宅対象の侵入窃盗の認知件数は、



2004年から22年まで減少していたが、23年は1万7469件で前年から11.3%増加。また、凶器などで家人を脅して金品を強奪する侵入強盗は、住宅対象は04年を最多とし、21年まで減少傾向であったが、23年は152件(前年比+17.8%)で、2年連続で増加している。

匿流による被害は居住者が暴行を受けるなど従来の侵入窃盗よりも凶悪化が進む。あらためて防犯強化の動きが加速しそうだ。

新刊

必携 住宅の品質確保の促進等に関する法律

省エネ関連、長期優良住宅の改正を全面的に反映した最新版

改訂版 2024



森創樹社